

2023年12月22日

持続可能な大阪・関西万博全体の指標について



「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた計画」（持続可能性行動計画）に掲げる万博全体の代表的指標については、以下の考え方により設定する。

①「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針」にて、
5つのP「目指すべき方向」を公表

※5つのP（People・Planet・Prosperity・Peace・Partnership）

②各部署において個別目標を作成

③各部署の目標をベースに大目標である「5つのP」との関連を見つつ
万博全体の代表的指標を作成

※「5つのP」をまたがる目標も見られたため、
5つのPごとの指標という形はとらない。

④全体の「目指すべき方向」、全体の代表的指標、個別目標・指標に基づいて
PDCAを回す



● インクルーシブな万博運営に関する指標

- ・会場内の施設整備に関するユニバーサルデザインガイドラインを策定し、開催者はガイドラインに沿った会場整備を行うとともに、参加者はガイドラインに従いパビリオン等の設計・建設を行うことにより、アクセシブルでインクルーシブな博覧会会場を整備する。
- ・ガイドラインの策定、施設整備にあたっては障がい当事者等の参画による意見反映を積極的に行う。
- ・誰もが楽しめる万博運営を行うため『ユニバーサルサービスガイドライン』を作成し、協会・出展（店）者・参加者が一体となって、より良いサービスを提供する。（具体的な指標は2023年度に検討）

● カーボンニュートラル実現に関する指標

- ・Scope1,2はカーボンニュートラルを目指す。Scope3は会場外での削減努力を行う契機として、万博のレガシーづくりにつなげる。

● サーキュラーエコノミーに関する指標

- ・会場運営関係の廃棄物について、分別したものは100%のリサイクルを目指す。施設設備関係の廃棄物について、リサイクル目標値は、政府の目標値や実績値により決定。（リデュース、リユースに関する目標は2023年度に検討）

● 地域産業への活性化寄与に関する指標

- ・中小企業の参画を増やしていく。（参画の定義については、催事・イベント等の詳細が明らかになった時点で決定する）

● 一人一人がつながるコミュニティ形成に関する指標

- ・「TEAM EXPO 2025」に参加いただいている「共創チャレンジ」「共創パートナー」を中心に様々な方が参加し、新たな「共創チャレンジ」を生み出し・育てていく場（デジタル・リアル）を提供していく。
- ・より多くの方が自分事として参加でき、共創につなげていけるよう、テーマウィークでのテーマを中心に、SDGs+beyondに関連するテーマを掲げ、参加者を募る。（具体的な指標は2023年度に検討）

行動計画（第2版）に記載する代表的指標の検討状況

- インクルーシブな万博運営に関する指標
 - ・ 万博史上初の人権デュー・ディリジェンス（人権DD）を実施するとともに、ユニバーサルデザインやバリアフリーに関する関係法令に基づく目標、指標を参考に万博に利用可能な指標を複数選定する方向で検討中。
- カーボンニュートラル実現に関する指標
 - ・ 行動計画（第1版）に記載したGHG排出量推計と削減方策を精査し、次回の脱炭素WGで検討予定。
- サーキュラーエコノミーに関する指標
 - ・ 行動計画（第1版）に記載した廃棄物排出量推計と分別方策を精査するとともに、排出削減方策とそれに基づく排出削減量を検討し、次回の資源循環WGで検討予定。
- 地域産業への活性化寄与に関する指標
 - ・ 中小企業の参画について、協賛者やライセンス商品の製造販売事業者（サブライセンシー企業）のうち中小企業者数を指標化することを検討中。
- 一人一人がつながるコミュニティ形成に関する指標
（次ページに記載）



一人一人がつながるコミュニティ形成に関する指標

「TEAM EXPO 2025」プログラム

多様な人たちがチームを組み、多彩な活動で大阪・関西万博とその先の未来に挑む、みんながつくる参加型プログラム、「TEAM EXPO 2025」プログラムを実施。プログラムに参加いただいている「共創チャレンジ」「共創パートナー」を中心に様々な方が参加し、新たな「共創チャレンジ」を生み出し・育てていく場を提供する。

(取組状況)

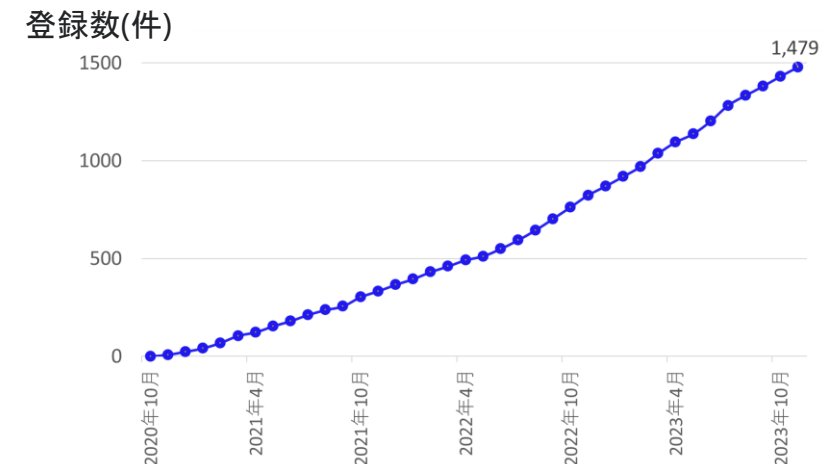
- ・ライフサイエンス、自然環境、文化芸術、教育・人材交流、観光・地域活性化など、1,479件の「共創チャレンジ」を登録。(2023年11月30日現在)
- ・「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創パートナーおよび共創チャレンジによるインタラクティブな情報発信や参加者交流を実施、参加者とともに新たな共創を促進していく「TEAM EXPO 2025 Meeting」を3回開催。

(指標)

参加者の中から約3,000組を募集し、万博会場で、これまでの成果を発表するとともに、来場者、出展者同士など多くの方と「対話」し、未来社会の実現に向けた新たな「共創」を生み出すことを目指す。



第2回「TEAM EXPO 2025 Meeting」会場の様子



共創チャレンジ登録数の推移